

大網ロータリークラブ Club Weekly Bulletin

よいことのために手を取りあおう



- クラブ創立：2000年1月13日
- 例会日：水曜日（12：30～13：30）
- 例会場：中部コミュニティセンター
TEL 0475-73-3337 FAX 0475-73-4360
- 事務所：〒299-3251
大網白里市大網 450-6 ユアサビル 2 階
TEL 0475-70-0200 FAX 0475-70-0222
- 会 長：吉原 久男 幹 事：渡邊 孝太
- 広報・公共イメージ
向上リーダー 星野 実

2025 年 10 月 22 日(水)
第 27 巻 第 12 号

通巻第 1133 号

ホームページ
<http://www.oamirotary.com>
✉E-mail
rc@oamirotary.com
Instagram
<https://www.instagram.com/oamirotary>
?igsh=MTZRzenBxZzOyOHJwMA==



🌸 本日の例会 🌸

点 鐘 会長 吉原 久男
ソ ン グ 我等の生業
会長挨拶 会長 吉原 久男
幹事報告 幹事 渡邊 孝太
プログラム
1.卓話 伊藤由紀子様
「英国生活と英会話」

最新ロータリーレート

2025 年 10 月 1 ドル=149 円

出席報告

例会日	10 月 8 日	9 月 24 日
会員数	26	27
出 席	15	16
欠 席	6	5
M U	0	0
免 除	5	6
出席率	77%	82%

会長挨拶

吉原 久男



皆さんこんにちは。
日本もようやく女性総理大臣が就任する見込みになり、女性の社会進出が多くなりそうです。
最近では各分野に進出する女性の活躍が目覚ましく、特にアメリカのゴルフツアーでは上位を独占する勢いです。
又、ジェンダー平等においては発展途上国を含む、調査対象の 148 カ国中 118 位と G7 の中では最下位です。女性の閣僚が減少したことから政治参加の分野での評価が低いので、順位を落としています。これからは、総理が女性になれば、4 役の中にも 1 人女性が入り、活躍が期待されます。因みに、上位はアイスランド、フィンランド、ノルウェーなど北欧の国が占めています。ここにきて、株、金などが急に上がり喜んでいたり関係していない人の差が生まれ、経済の二極化が進みます。平等の機会が失われる社会が今後進んで、犯罪の発生に繋がるのではないかと心配です。
10 月は米山月間になります。皆さんから預かっているレートは 150 円ですので、円安にならない内に早めに振込みしたいと思います。
台風 22 号が近づいております、被害がない事を願い挨拶とします。

卓話風景

大村祐子様



10月11日(土)、12日(日)

会場：TKP 東京ベイ幕張ホール



シュタイナー教育とは

1919年ドイツの哲学者ルドルフ・シュタイナー博士が「自由ヴァルドルフ学校」において取り入れた教育法。

シュタイナーの7年周期とは

前期

- 0～7歳（1期）・7年をかけて全身を作り変える
- 7～14歳（2期）・感情を形成する
- 14～21歳（3期）・独自の思考を育てる
- 21～28歳（4期）・心魂の個性の確立期
- 28～35歳（5期）・人生の中心期

後期

- 35～42歳（6期）・存在の危機に向かつて
- 42～49歳（7期）・空虚との戦いー後半生の鍵を握る時期
- 49～56歳（8期）・自分に与えられた本当の課題を実践する時期
- 56～63歳（9期）・人生の収穫期
- 56歳ごろに、人生にはもう一度変化が生じることがある。
- 56歳を迎えた時点で、いままでに実現しなかった希望を再点検する時期にきている。この時期は内面に向かう時期であり、精神的な指導者になりうる時期である。物質的に感覚が衰えることをとおして、精神的な感覚は冴えてくる。人間は内面化し、神秘的になる。
- 56歳から63歳というのは、若いころは理論的にしか考えられなかったことがらを、現実的に解決できる年齢なのである。
- 56歳から63歳にかけて、今までの自分の努力の成果を刈り入れるのである。60代というのは、人生の収穫期なのだ。
- 63～70歳（10期）・神様からのプレゼント
- ☆執着を捨てる事、ユーモアを持つ事が大切

大村祐子様 プロファイル

2025年10月現在

1945年生まれ。アメリカ、サクラメントのルドルフ・シュタイナー・カレッジにてシュタイナー学校教員養成、ゲーテの自然科学、芸術のプログラムで学んだ後、現地のシュタイナー学校、ルドルフ・シュタイナー・カレッジで教える。1998年帰国し、北海道伊達市で人智学共同体「ひびきの村」を始め、バイオダイナミック農場、シュタイナー保育園、幼稚園、小中高等学校、特別な配慮を必要とする子どもたちのラファエル・スクール、大人が学ぶミカエル・カレッジを主宰。2006年から2009年まで札幌放送局で「北の学び舎・ひびきの村から」を担当。2011年「ひびきの村」の理事長を退いて神奈川に移り、母親の介護をしながら執筆、講演、ワークショップ活動を続け、2015年から2017年まで公立「台東ボラン保育園」「浅草ボラン保育園」の立ち上げに関わり所長、顧問を勤める。著書は「シュタイナーに学ぶ通信講座1巻～18巻」「私の話を聞いてくれますか」「童話・四季のお話1巻2巻」「シュタイナー学校の模擬授業」「子どもが変わる魔法のお話」「昨日に聞けば明日が見える」「空がこんなに美しいなら」小冊子シリーズ「ルドルフ・シュタイナーの十二感覚論」「私が出会ったシュタイナー思想を生きる人々」「創造的な高齢者介護」等。

2018年11月千葉県大網白里市に転居し、講座、講演などを主宰。